

# ベナンのあれこれ

## ～国概要～

### ～第1号目次～

- 国概要
- 食事紹介
- 活動紹介

面積：112,622平方キロメートル（日本の約3分の1）

人口：890万人（2009年、世銀）

首都：ポルトノボ（Porte Novo）

民族：フォン族、ヨルバ族、アジャ族、バリタ族等46部族

言語：フランス語（公用語）

宗教：伝統宗教（65%）、キリスト教（20%）、イスラム教（15%）

地理：西アフリカで、トーゴとナイジェリアの間に位置する。北は、ニジェール、ブルキナファソと隣接。

## ～食事紹介～

主食は、お米、スパゲッティ、芋、マメなどたくさんある。

そして、ベナンで最も愛用され、特徴的であるのがパット。これは、トウモロコシを粉末状にし、お湯で溶いて固めたものである。パーム油や、トマト、とうがらしなどで作ったソースに付けて手で食べる。お好みで魚、肉などをソースに添える。

アタシと呼ばれる日本の赤飯に近いものや、イニヤムピレとよばれる芋を突いて固めたおもちみたいなものも。フランス領ということもあり、パンはフランスパンでおいしい。

すべて屋台で、1食100F～500F（日本円で20円～100円くらい）で食べられる。



パットと野菜ソース



アタシとゆで卵

## ～活動紹介～



水汲みをする子供たち

### 清潔な水を使うための啓発活動

ベナンでの水道普及率は低く、多くの人々が井戸を使用している。私の活動するダンボ市は、湿地帯や水上集落があり、他の地域よりも簡単に水が手に入る。それもあってか、お金を払って井戸の水を購入するよりも、近くの川の水を飲んだり、川の水で調理をするということもしばしば。また、井戸自体も清潔に保てられてなく、汚い水を使用している。これらによる感染症などの被害を防ぐため、住民に対してきれいな水を使うようにと啓発する。

### 一村一品の活動

ベナンの多くの人々は、ボンバといわれる現地独特の服を着ている。これは、こちらの布を使って仕立てた服である。これらの生地切れ端を使って、財布、ブックカバー、ポーチなどを他の製品を作れないかと始めた。ベナン人の収入向上を目的に一村一品として売り出せないかと検討中。いろいろな製品を提案し、外国人を中心に販売している。



小銭入れ



ブックカバー

兵藤 匡祥

青年海外協力隊<JOCV>

平成22年度 3次隊、村落開発普及隊員としてベナンのダンボ市へ

配属先：ダンボ市役所

派遣期間：平成23年1月11日～平成25年1月9日

ブログ：アマチュアライフ <http://ameblo.jp/hagfd/>